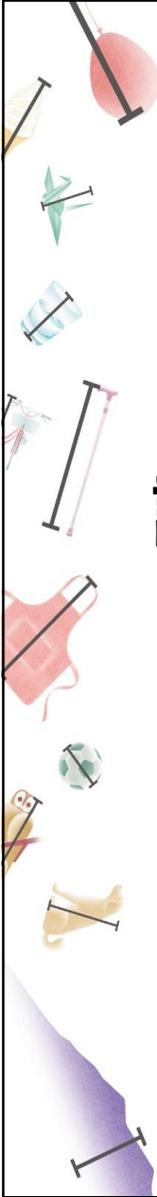


(仮称)
中根・金田台地区小学校
開校に関する説明会

令和6年5月25日(土)	九重小学校、栄小学校
令和6年5月26日(日)	栗原小学校
令和6年6月1日(土)	桜総合体育館

つくば市教育局



説明会次第

1. 開会

2. あいさつ

3. 職員紹介

4. 説明事項

(1) 通学区域及び児童数について

(2) 新設校の教育について

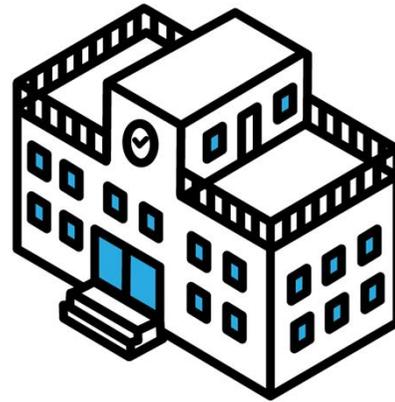
(3) 新設校の建設概要について

(4) 開校までのスケジュールについて

5. 質疑応答

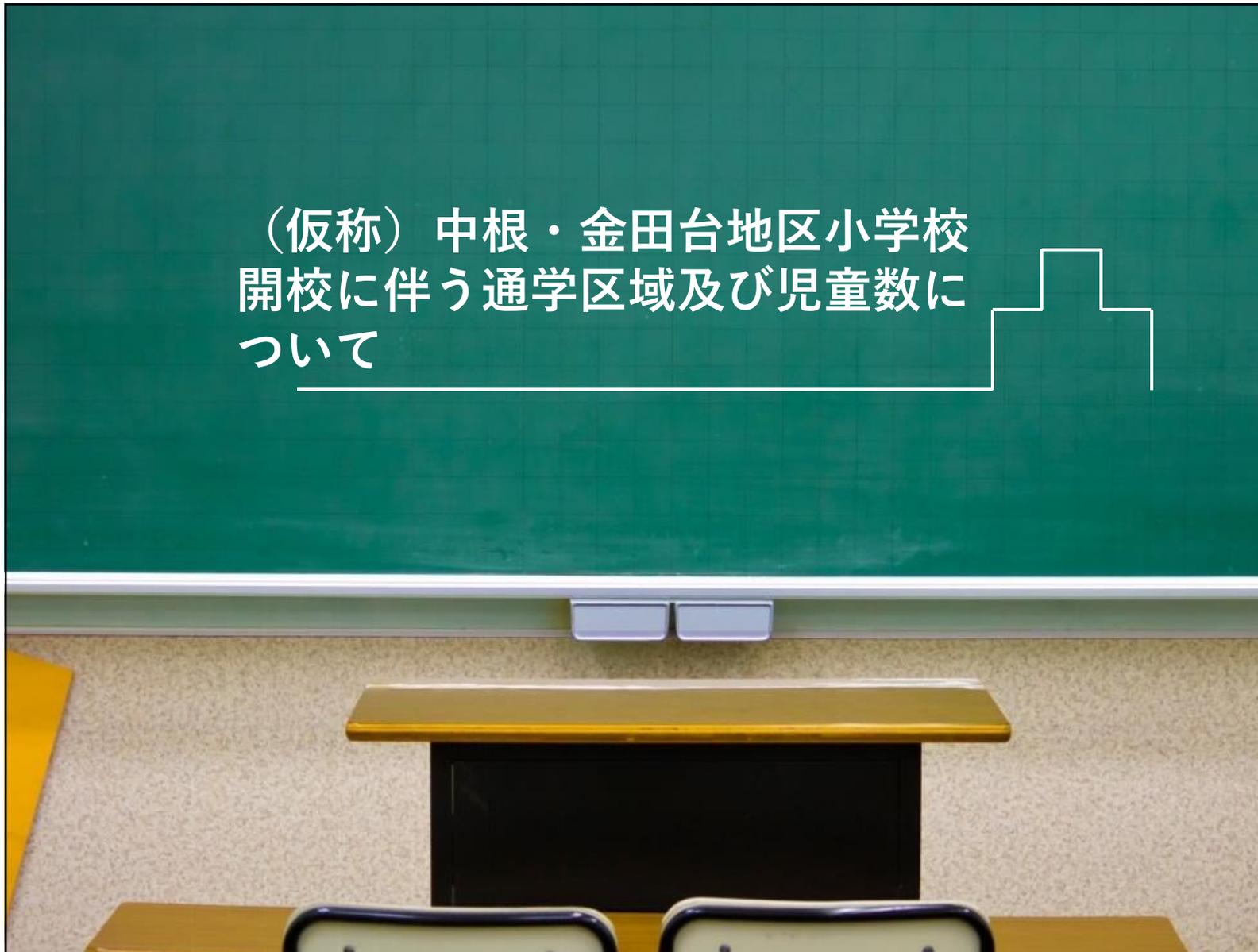
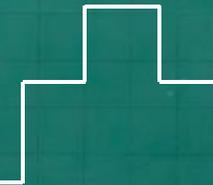
6. 閉会

(仮称) 中根・金田台地区小学校
開校に関する説明会



つくば市教育局

(仮称) 中根・金田台地区小学校
開校に伴う通学区域及び児童数に
ついて



現状及び通学区域設定の考え方

つくばエクスプレス沿線開発区域である中根・金田台地区は、栗原小学校、栄小学校及び九重小学校の通学区域に含まれ、宅地開発に伴い、児童数の増加が見込まれる地域である。今後も住宅等の建設が予想され、各学校の児童数増加により、教室数の不足が見込まれ、新たな学校の建設が必要な状況である。

(仮称) 中根・金田台地区小学校は、令和8年4月に開校を予定している。建設地は、つくばエクスプレス沿線開発区域である中根・金田台地区の春風台地内にあり、現在は、栗原小学校の通学区域内に位置する。

(仮称) 中根・金田台地区小学校の通学区域を検討するに当たり、建設地が通学区域内にある栗原小学校並びに隣接する栄小学校及び九重小学校の通学区域を分割する方針とし、各学校からの通学距離や通学経路、地域の地理的特性を中心に、各学校の児童数の推計値から通学区域を設定した。

令和3年度つくば市学区審議会

第1回 令和3年10月4日開催

第2回 令和3年11月9日開催

第3回 令和3年12月23日開催

第4回 令和4年2月7日開催

▶ **つくば市学区審議会ホームページ**

<https://www.city.tsukuba.lg.jp/soshikikarasagasu/kyoikukyokugakumuka/gyomuannai/4/2/1013447.html>



(仮称) 中根・金田台地区小学校開校に伴う通学区域について諮問

▶ 諮問理由

つくばエクスプレス沿線開発地区である中根・金田台地区内に、令和8年4月に(仮称)中根・金田台地区小学校が開校予定であり、栗原小学校、栄小学校、九重小学校の通学区域を分割し、新たに通学区域を設定する必要があるため

▶ 通学区域案

学校名	通学区域
(仮称) 中根・金田台地区小学校	春風台、さくらの森、流星台

つくば市学区審議会答申

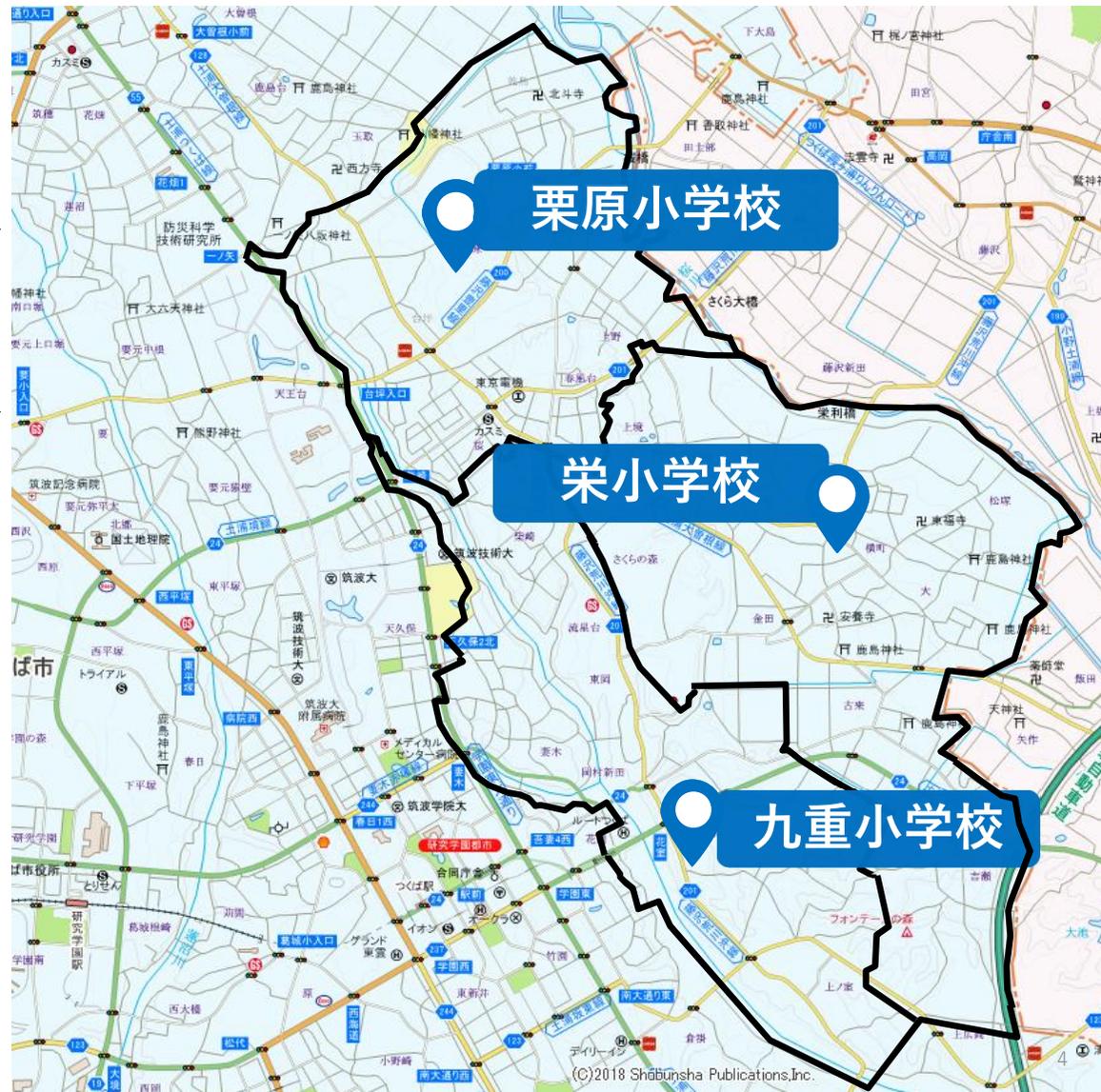
次のとおり設定することが望ましいと考える。

学校名	通学区域
(仮称) 中根・金田台地区小学校	春風台、さくらの森、流星台、上野、桜1丁目、桜2丁目、桜3丁目、上境、柴崎

栗原小学校
栄小学校
九重小学校

現在の

通学区域



令和8年度以降の 通学区域(案)

学区審議会答申による 新設校の通学区域

春風台、さくらの森、
流星台、上野、桜1
丁目、桜2丁目、桜
3丁目、上境、柴崎

※栗原小学校が小規模校となる
ため、栗原地区については、
新設校への就学についても柔軟
に対応する予定



学区分割後

■ (仮称) 中根・金田台地区小学校 児童数・学級数推計

単位：人

学年	令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年	111	4	132	4	126	4	121	4
2年	120	4	111	4	132	4	126	4
3年	101	3	120	4	111	4	132	4
4年	96	3	101	3	120	4	111	4
5年	73	3	96	3	101	3	120	4
6年	71	3	73	3	96	3	101	3
合計	572	20	633	21	686	22	711	23

令和6年5月1日時点学校名簿及び令和6年4月10日時点住民基本台帳人口から

学区分割後

■ 栄小学校 児童数・学級数推計 単位：人

学年	令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和6年5月1日現在 在籍児童数	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年	48	2	30	1	37	2	40	2	61	2
2年	46	2	48	2	30	1	37	2	43	2
3年	47	2	46	2	48	2	30	1	31	1
4年	29	1	47	2	46	2	48	2	56	2
5年	28	1	29	1	47	2	46	2	42	2
6年	47	2	28	1	29	1	47	2	49	2
合計	245	10	228	9	237	10	248	11	282	11

令和6年5月1日時点学校名簿及び令和6年4月10日時点住民基本台帳人口から

学区分割後

■九重小学校 児童数・学級数推計 単位：人

学年	令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和6年5月1日現在 在籍児童数	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年	34	1	27	1	28	1	18	1	55	2
2年	31	1	34	1	27	1	28	1	56	2
3年	29	1	31	1	34	1	27	1	49	2
4年	33	1	29	1	31	1	34	1	38	2
5年	33	1	33	1	29	1	31	1	41	2
6年	29	1	33	1	33	1	29	1	46	2
合計	189	6	187	6	182	6	167	6	285	12

令和6年5月1日時点学校名簿及び令和6年4月10日時点住民基本台帳人口から

学区分割後

■栗原小学校 児童数・学級数推計 単位：人

学年	令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和6年5月1日現在 在籍児童数	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年	7	1	1	1	4	1	2	1	69	2
2年	9	1	7	1	1	1	4	1	66	2
3年	8	1	9	1	7	1	1	1	63	2
4年	7	1	8	1	9	1	7	1	56	2
5年	10	1	7	1	8	1	9	1	61	2
6年	5	1	10	1	7	1	8	1	55	2
合計	46	4	42	4	36	3	31	4	370	12

令和6年5月1日時点学校名簿及び令和6年4月10日時点住民基本台帳人口から

栗原小学校の今後に関する市の方針

- **特色ある教育を行う小規模特認校に**

特色ある教育を進めるとともに、栗原小学校の教育を希望する方については、市内のどこからでも就学を認める小規模特認校とする。

- **栗原地区で新設校を希望する方への柔軟な対応**

小規模校となることへの不安の声などがあるため、栗原地区で新設校を希望する方については柔軟に対応していく。

栗原小学校の今後に関する市の方針

小規模校における特色ある教育の実践 谷田部南小学校の例

イエナプランの理念を取り入れた教育活動の実践研究
～多様な他者との交流を通じた児童の非認知能力の醸成～

【イエナプラン】

ドイツ発祥でオランダで発展、普及。

オランダでは、200校以上。

異学年学級・サークル対話（相手を尊重し認め合う関係づくり）・
ワールドオリエンテーション（生きた本物の題材をもとに、
子どもたちが協働で探究する学び）が特徴



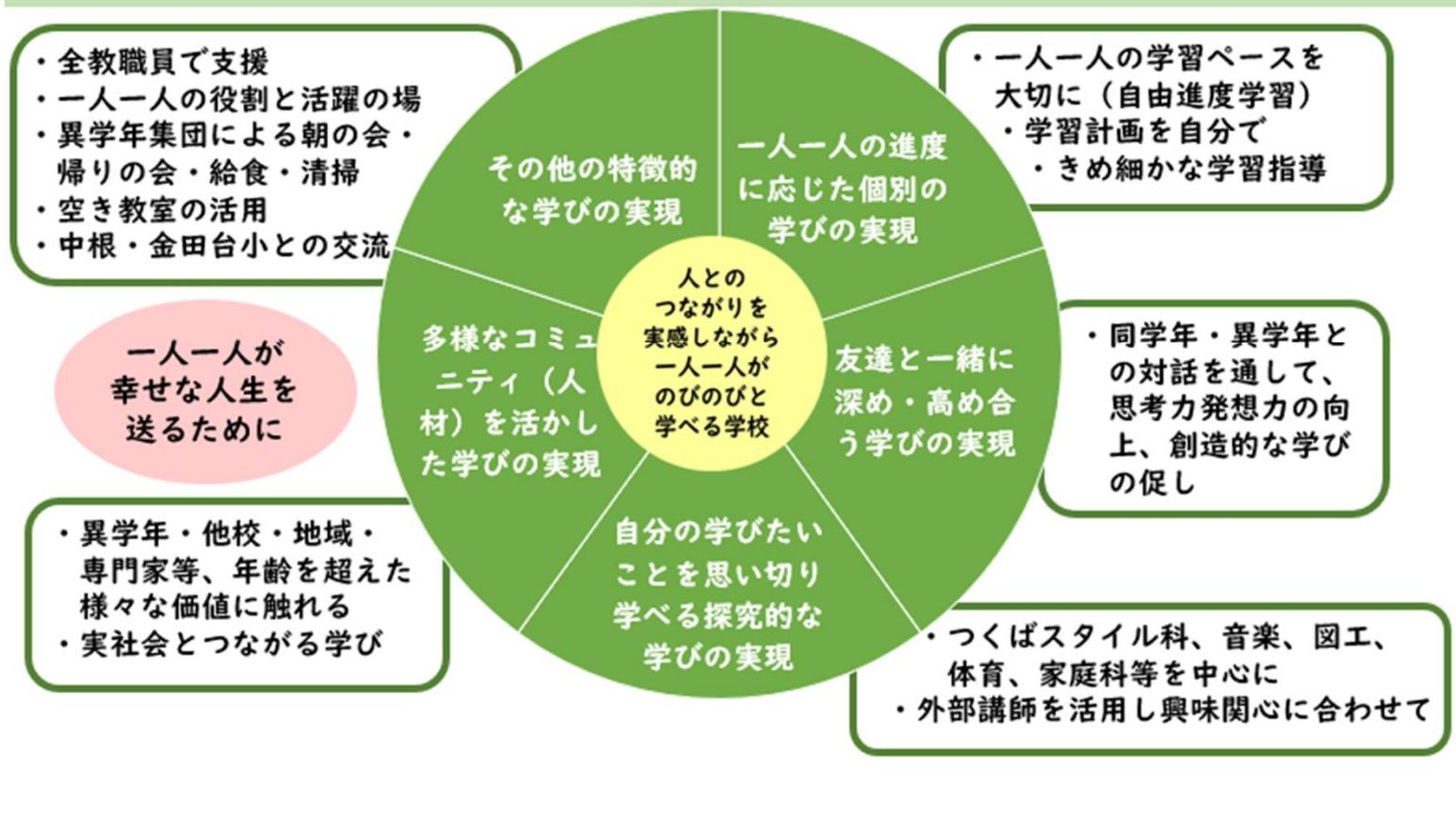
- 自律的な学習者の育成
- コミュニケーション力・協働力・表現力の向上
- 児童による自治的な学校の実現



栗原小学校の今後に関する市の方針

- ・ イエナプランの理念を取り入れた魅力的な教育

学校の魅力 5つのプロジェクト



栗原小学校の今後に関する市の方針

【一週間のイメージ】

	月	火	水	木	金
朝の会	異学年同士による活動				
1 時間目	【主要教科等（国・算・社・理・英）の学習】 ・一人一人の進度に応じた個別の学び ・友達と一緒に学ぶ協働する学び				
2 時間目					
3 時間目					
4 時間目					
給食 清掃	異学年同士による活動				
5 時間目	【つくスタ・音・図・体・家 等の学習】 ・学びたいことを、おもいきり学べる探究的な学び ・多様なコミュニティ（人材）を生かした学び				
6 時間目					
帰りの会	異学年同士による活動				

きめ細かな学習指導

同学年・異学年の友達と一緒に学ぶ様々な形態

ランチルームでの合同給食、縦割班での清掃活動

様々な外部の専門家を招き、社会とつながりながら学ぶ

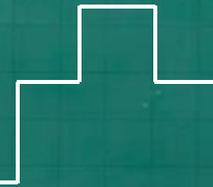
気持ち良くスタートできる温かい雰囲気づくり

固定化しがちな人間関係の解消

例：地域の飲食店とコラボし、新商品を共同開発

例：地域の方との野菜作り体験を通して給食の新メニューを考案し提案

(仮称)
中根・金田台地区小学校の
教育について



つくば市教育大綱

最上位の目標「一人ひとりが幸せな人生を送ること」

- ① 「教え」から「学び」へ
- ② 「管理」から「自己決定」へ
- ③ 「認知能力偏重」から
「非認知能力の再認識」へ

自律した学習者を育てる

桜学園

桜中学校

栄小学校

九重小学校

栗原小学校

(仮称)中根・金田台地区小学校

桜学園での9年間の学び

○「問い」を大切にし、対話を取り入れた深い学び

なぜ？

どうして？

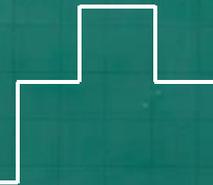
○主体性を生かした探究的な学び

- ・何をどのように学ぶか児童生徒が選択
- ・自分の学びを振り返る活動

○ルールメイキング活動、自主的な委員会活動

- ・自分たちで課題に気付き、生活を改善

(仮称)
中根・金田台地区小学校の
建設概要について



施設概要について



画像は完成イメージです。

多様な教育環境に配慮した学校

- ・イェナプラン教育に対応するためのワークスペースを整備します。
- ・少人数指導・グループ学習等を効果的に行うことができるよう多目的室の整備を行っています。

地域に開かれた学校づくり

- ・学校施設開放事業などを実施することを想定し、解放エリアの独立性の確保について考慮した施設としています。
- ・保護者や地域住民が一体となって子どもたちを育める施設となるよう配慮しています。

安心・安全な学校づくり

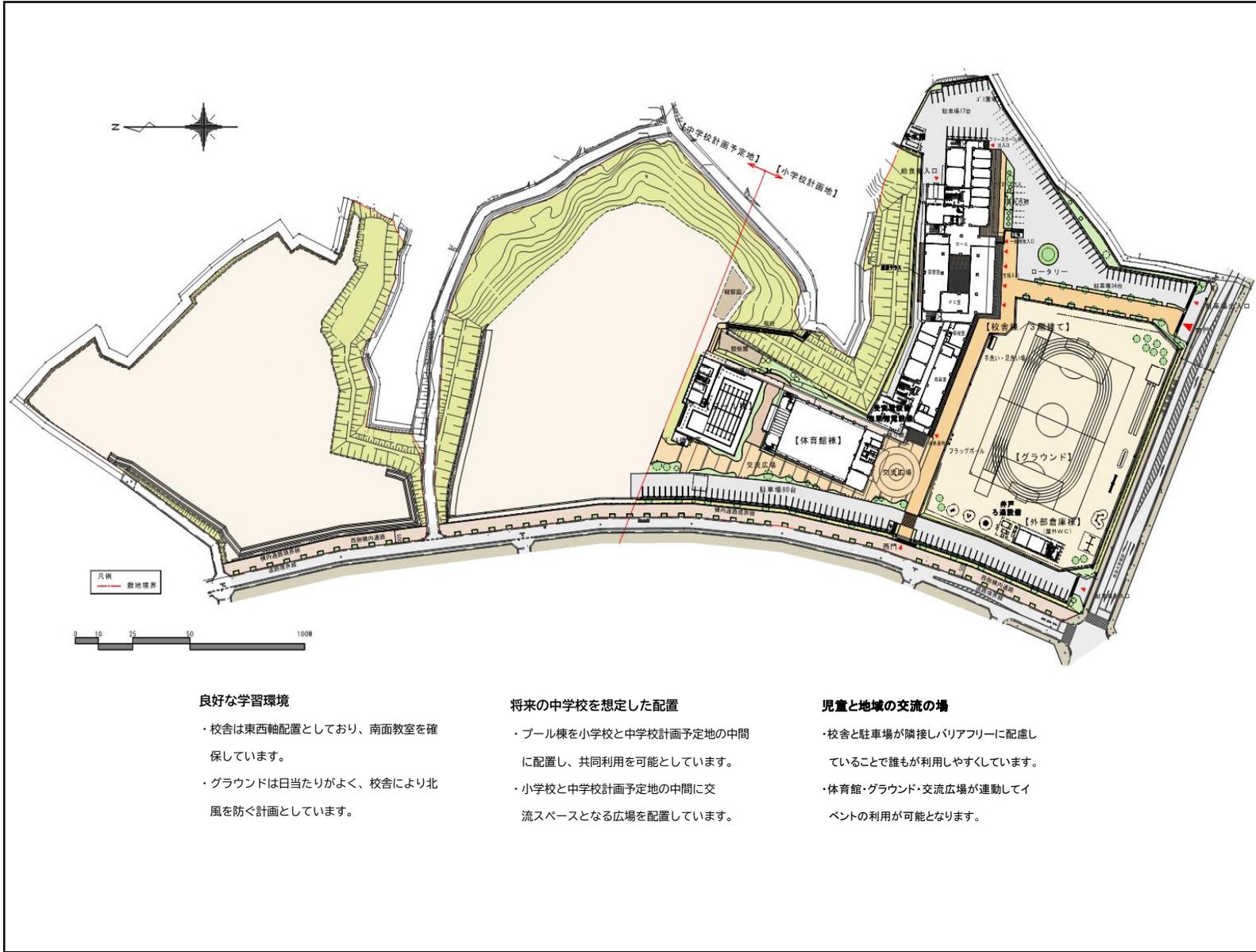
- ・校舎内の採光、通風、換気等に十分配慮することで児童が健康的に学校生活を送ることができる施設としています。
- ・耐震性を確保するとともに、災害時に避難所としての役割を十分に果たすことができる強靭な施設としています。

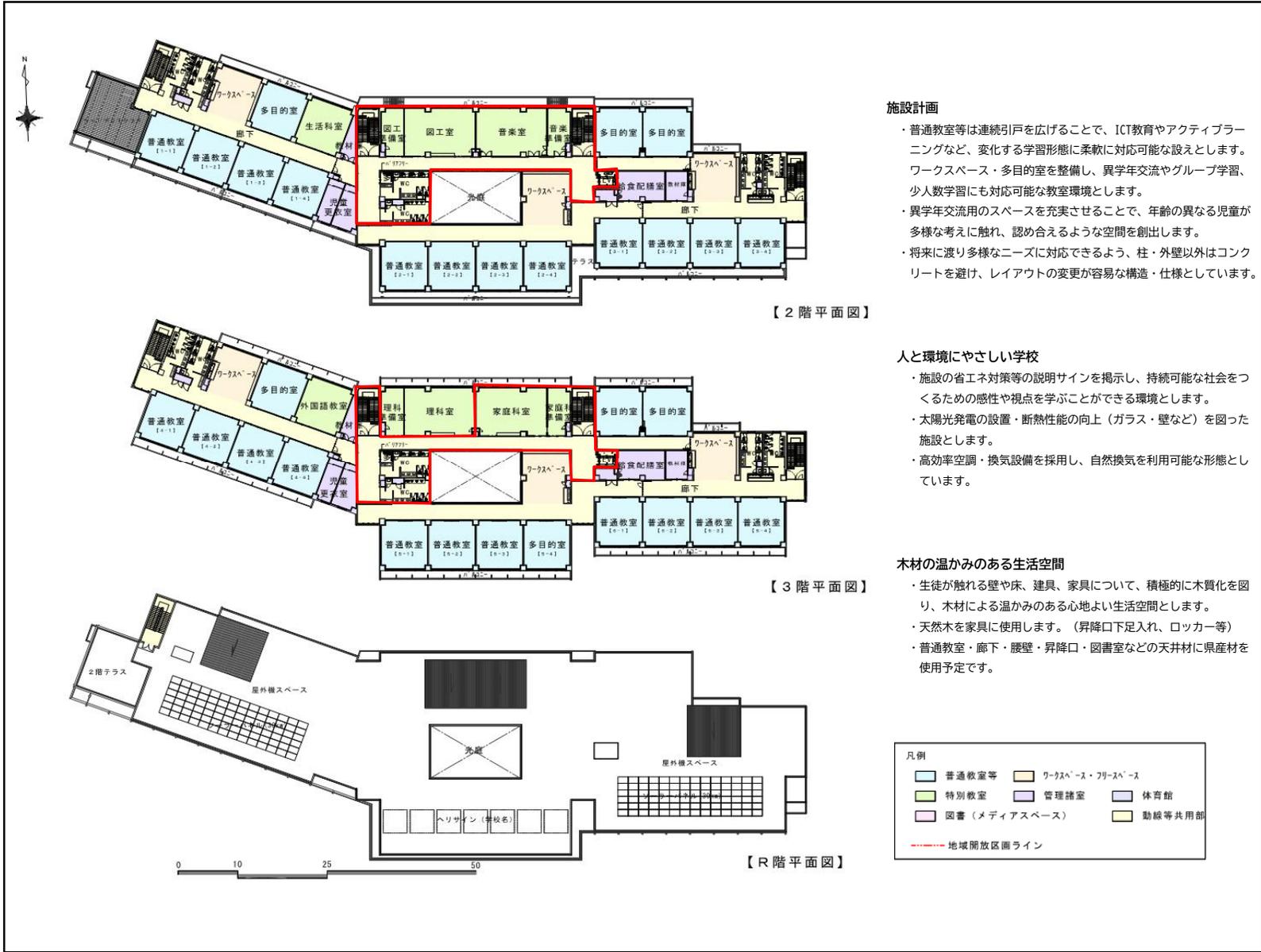
将来を見据えた持続可能な学校

- ・将来の学級数の変動による間取りの変更や他の用途への転用なども見据え、諸室等の再構成が容易な施設としています。
- ・今後の情報教育の進展などに対応することができるよう、高機能かつ多機能な施設としています。

人と環境にやさしい学校づくり

- ・省エネルギー設備の導入、自然エネルギーの検討、木質化・緑化等により環境に配慮した施設としています。
- ・校舎についてはZEB Ready、体育館については、Nearly ZEBを取得しています。





施設計画

- ・普通教室等は連続引戸を広げることで、ICT教育やアクティブラーニングなど、変化する学習形態に柔軟に対応可能な設えとします。ワークスペース・多目的室を整備し、異学年交流やグループ学習、少人数学習にも対応可能な教室環境とします。
- ・異学年交流用のスペースを充実させることで、年齢の異なる児童が多様な考えに触れ、認め合えるような空間を創出します。
- ・将来に渡り多様なニーズに対応できるよう、柱・外壁以外はコンクリートを避け、レイアウトの変更が容易な構造・仕様としています。

人と環境にやさしい学校

- ・施設の省エネ対策等の説明サインを掲示し、持続可能な社会をつくるための感性や視点を学ぶことができる環境とします。
- ・太陽光発電の設置・断熱性能の向上（ガラス・壁など）を図った施設とします。
- ・高効率空調・換気設備を採用し、自然換気を利用可能な形態としています。

木材の温かみのある生活空間

- ・生徒が触れる壁や床、建具、家具について、積極的に木質化を図り、木材による温かみのある心地よい生活空間とします。
- ・天然木を家具に使用します。（昇降口足入れ、ロッカー等）
- ・普通教室・廊下・腰壁・昇降口・図書室などの天井材に県産材を使用予定です。



交流スペース：交流、発表の場等に活用



交流スペース：植栽を活かした交流、自分の好きな居場所



南西方向鳥瞰



南西側外観：校舎と体育館の間は交流広場となる。体育館の形状は近隣に配慮したボリュームとした。



南側外観：分節したボリュームにより圧迫感を無くし、親しみのあるファサードとなる。



校舎 ワークスペース

広くて明るいワークスペースは、自主的な学習空間やラウンジ機能として多様な学習を可能とします。
 普通教室は連続引戸を広げることで、アクティブラーニングなど、変化していく学習形態に対応が可能です。
 普通教室の黒板、掲示板の枠は木製とします。
 天井・腰壁に県産木材の利用を予定しています。



校舎 学校図書館

図書館は昇降口、ホールとつながり、昇降口から光庭越しに見えることで利用を促進します。
 両側開口とすることで、明るい自然光の下で読書ができ、光庭や展望テラスと連動した利用も可能です。
 PC室が隣接することで、一体的にメディアセンターとしての利用もできます。



校舎 昇降口・ホール

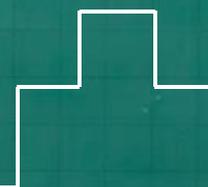
中央部に中庭を設けることで自然通風、自然採光、自然換気を確保します。
 中庭・昇降口については、内部が木材の建具をふんだんに使用します。
 省エネ対策や利用木材についての説明サインを設置し、学習に生かせるように配慮します。



体育館

力強い木質の構造体（屋根）がダイナミックながらも、やわらかな、ぬくもりのある空間を形づくりします。
 屋根構造材は国産杉を採用予定です。腰壁には県産材のサワラという樹種の使用を予定しています。
 省エネ対策（Nearly ZEB取得）や使用木材についての説明サインの設置します。

開校までのスケジュールについて



(仮称)中根・金田台地区小学校開校に向けたスケジュール

	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
保護者、地域住民向け報告会・説明会	→		→		
建設工事等		→ 設計	→ 工事		
開校準備委員会				→	
学校名の決定 (条例改正)				→	
通学区域の決定 (規則改正)				→	
					開 校

開校準備委員会

- 保護者代表及び学校関係者で構成
- 校名、校章、体操服などの選定
- 通学路、保護者組織などの協議

(例) 令和5年度開校 香取台小学校開校準備委員会

- 委員 16名
島名小学校保護者12名、
島名小学校長、教頭2名、教務主任
- 会議開催 12回
第1回 令和3年12月10日
～第12回 令和5年3月10日

説明会資料および質疑応答の内容については、市ホームページに近日中に掲載します。

本日の説明内容に関するご質問・ご意見については、いばらき電子申請サービスからお問い合わせいただけます。

回答については個別の回答ではなく、市ホームページ上での公表をもって回答とさせていただきます。

[つくば市ホームページ](https://www.city.tsukuba.lg.jp/soshikikarasagasu/kyoikukyokugakumuka/gyomuannai/4/1/1018422/20733.html)

<https://www.city.tsukuba.lg.jp/soshikikarasagasu/kyoikukyokugakumuka/gyomuannai/4/1/1018422/20733.html>



ありがとうございました



つくば市教育局

